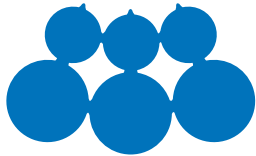




OSAKA JONAN  
JAPAN



# ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

No. 1668  
2003-4-18

RI 第2660地区  
大阪城南ロータリークラブ

創立 1969年5月30日 会長 朝倉 良  
幹事 成瀬 俊昭 会報委員長 西谷雅之

事務所 (株)近鉄百貨店 上本町店10階  
〒543-8543  
大阪市天王寺区上本町6-1-55  
TEL (06)6771-9009  
FAX (06)6772-9090  
E-mail johnan25@crocus.ocn.ne.jp  
HP http://www.osaka-johnan-rc.org  
例会場 都ホテル大阪 上本町6-1-55  
TEL (06) 6773-1111  
例会日 金曜日 12:30

## Sow the Seeds of Love

慈愛の種を播きましょう

2002～2003年度RI会長 ピチャイ・ラタクル

### 本日の例会

4月18日(第3例会)

#### 1.ロータリー情報

「地区について」

岡本 彰会員

#### 1.卓話「旅に出てIII」

佐々木正治郎会員

### 次週のお知らせ

4月25日(第4例会)

#### 1.卓話「平成15年度税制改正について」

梅崎道夫会員

### 3月出席報告

( ) 出席免除

	7日	14日	28日
会員数	74(20)	74(20)	74(20)
出席会員数	52	57	60
出席率%	70.37	74.07	88.89
補正出席率%	98.15	98.15	98.15

### 会長報告

花粉症の最後のヒノキ花粉が最盛期ですが、桜の花が終わりに近づき新緑を楽しむ時期になりました。イラク戦争もバグダッド陥落という段階まで来ました。終盤に近づいているようですが戦後復興を含めてどのようになるのか誰にもわからないことのようにです。

先週の卓話では、今月の雑誌月間に因んで岡本克持郎雑誌・広報委員長にお話しをして頂きました。直接のテーマではありませんでしたが、「ロータリー変わる事と変わらない事」について、「関西ロータリー研究会の基調講演」より年を経た変化と普遍的なことについてお話しをして頂きました。因みに、5/9～5/10に開催されます本年度当地区大会では、第1日目のガバナー補佐座談会のテーマは「変えたいロータリー」、部門別懇談会のテーマは「変えてはならないロータリー」となっており、又第2日目、本会議の後に開催されます記念シンポジウムのテーマは「新世代に引き継ぐ奉仕の理想」となっております。最近

のロータリーの変化についての多様な意見が聞かれることを期待致しております。

(後半は次週に掲載させていただきます)

### 幹事報告

- 前回、ご報告しましたように6月度理事会を6月6日(金)から6月13日(金)に変更します。
- 一昨日のGSE送別会には当クラブから多くの会員が出席していただきありがとうございました。特に親睦・出席委員の皆様にはたいへんお世話になりました。
- 現在次の3会員が病氣療養中です。3会員とも快方に向かっておられます。  
八尾会員  
赤澤会員  
新垣会員

### 委員会報告

#### ロータリー財団・米山奨学委員会

委員長 岡倉三郎

本年度GSEプログラムとして去る3月14日から来日しております英国1050地区GSEチームが本日早朝関西空港より帰国致しました。GSEの受け入れに際しまして当クラブはコ・ホストとしてお手伝いを致し一昨日4月9日には歓送会を担当し当都ホテル大阪で100名以上のご参加を得て盛大に実施する事が出来ました。関係者の皆様のご協力に感謝申し上げます。特に渡邊会員にはホストファミリーをお引受頂きGSEチーム常在中何かとお世話を頂きありがとうございました。

#### 雑誌・広報委員会

委員長 岡本克持郎

十数年前から行われておりますテリトリー内ご老人を対象にした 大阪城南ロータリークラブ会長杯囲碁将棋大会が去る3月15日東成老人福祉センターで行われました。菅澤副会長 三木社会奉仕委員長 ほか囲碁クラブメンバー計12名出席しました紹介記事が3月14日に行われました東小橋公園への植樹と共に関西新聞に掲載されました。コピーを各テーブルに配布させていただきました。

## 卓話

3月28日(第4例会)

## 驚異的民族とその源泉「タルムード」に就いて

西澤正男

今日、ユダヤ人は全世界でわずか1,480万人、世界人口60億人の0.25%にすぎない。それにもかかわらずビジネスの世界を始めとして抜きん出た人材を満天に輝く綺羅星の如く送りだしている。例えば、世界最大の金融財閥のロスチャイルド、ダイヤモンド王のアーネスト・オープンハイマー、シェル石油創業者のマーカス・サミエル、新聞王のジョセフ・ピューリツァー、フランスの自動車王アンドレ・シトロエン、イタリアのオリベッティ、二十世紀最高の頭脳と言われたアインシュタイン等、名前をあげればきりがない。又、現在アメリカで活躍する連邦準備理事会のグリーンズパン議長、元国務長官のキッシンジャー、ディズニー会長のマイケル・アイズナー、デル・コンピュータのマイケル・デル、投資家のジョージ・ソロス、経営学者のピーター・ドラッカー等、全米で3%にすぎないユダヤ人が各界の第一線にいます。更にノーベル賞を例にとると、ノーベル賞が始まった1901年から今日まで、約670人がノーベル賞を授けられているが、その内約140人(21%)がユダヤ人です。又、世界の億万長者400人の内、デル・コンピュータのマイケル・デルを筆頭にして60人(15%)を占めている。そもそも、世界で最も古い本といわれている聖書を書いたのはユダヤ人です。キリスト教が新しい聖書を加えた為に、神の古い約束と言う意味で「旧約聖書」と「新約聖書」と分けて呼ぶ様になったのであり「新約聖書」も「ルカ伝」以外はすべてユダヤ人によって書かれたものです。キリスト教のイエスを始めその十二使徒、イエスの父ヨセフや母マリアも初代ローマ法王もすべてユダヤ人でした。そしてキリストはユダヤ王国に生まれたユダヤ教の宗教リーダーであった。従ってキリスト教の考え方はユダヤ教の伝統に深く根ざしているのです。又、西洋文明を創った5人の巨人と言えば、キリスト、ニュートン、フロイド、マルクス、アインシュタインだといわれておますが、ニュートン以外はすべてユダヤ人です。更に、世界の四大宗教といえば、人口を尺度にして、キリスト教、イスラム教、仏教、ヒンズー教ですが、この内の二つキリスト教、イスラム教はユダヤ人が生み出したものです。

ユダヤ人は実に驚嘆すべき民族であり、その力は、ビジネスの分野だけでなく、宗教、科学、技術、芸術など様々な世界に及んでおます。何故ユダヤ人が抜きん出ているのか、その源泉は「タルムード」にあると思われま

す。ユダヤ人は「聖書を心の拠りどころ」とし「タルムードを知力の拠りどころ」として、ひたすら学んできたのでおます。「タルムード」は「聖書」と違って法典ではないが法が語られ、歴史書ではないが歴史が語られ、人物事典ではないが多くの人物が語られ、百科事典ではないが百科事典と同じ役目を果たしている。人生とは何か、人間の尊厳とは何か。幸福とは何か、愛とは何か等々。5千年にわたるユダヤ人の知的財産、精神的滋養がここに凝縮されておます。「タルムード」は全部で20巻1万2千ページに及び語数にして250万語、重量75kgという膨大なもので1日1ページずつ1日も休まずに読んでも33年間かかるとの事です。「タルムード」は今から1200年前に、紀元前500年前から紀元後500年までの口伝を2000人以上のラビ(賢人)が集まって十年の歳月を費やして宗教、法律、哲学、道徳についての様々な問題について論争したものを記録し整理編集したものでおます。そして、この論争は今でも続けられており、その時代によって新しい説、新しい見方が加えられていて、つまり今日でもまだ終わっていないオープンエンドの本です。「タルムード」は深く学ぶという意味で、「タルムード」はユダヤ人の生きる知恵の源であり、生きてゆく為の指針でもおます。「タルムード」はユダヤ5千年の途方もなく長い、しかも極めて特異な歴史の中から生み出された貴重なものでおます。ユダヤ人は遠く紀元前3千年もの昔から存在したにもかかわらず、紀元前70年にユダヤ王国がローマ軍によって滅ぼされてから1948年のイスラエル建国まで1878年もの間、国を失い流浪の民として世界に四散し安住の地を得る事ができなかった。そしてその土地その土地において、奴隷や賤民として生きることを強いられ、中世にいたっても何時も不当に蔑視と差別の中でユダヤ民族であるが故によく身についた財産を剥奪され永く住んでいた土地を追われる迫害を受け続けた。いふならばユダヤ民族そのものが、いつ何時地球上から消滅してもおかしくなかったのでおますが、したたかな民族として生き残った。

恐るべき逆境の中から生き残り見事に成功してきた、その力は何だったのか。やはり「タルムード」にあると確信致します。その中にある一部を紹介します。それは「ユダヤの十戒」というもので次の様なものです。

- (1)正直であれ。(2)好機をとらえよ。
- (3)生涯にわたって学べ。(4)時間を費べ。(5)笑え。
- (6)使命感をもて。(7)過去から学べ。(8)話す倍聞け。
- (9)弱者に施せ。(10)家族を大切にせよ。

いずれも人生にとって大切な事がかかれており、ご参考になれば幸甚です。

(ここにこ箱は次週に掲載させていただきます。)